

和解をもたらす人づくり

平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー 「シラバス」

○ セミナー概要

身近な問題から国際的な対立に対し、暴力や力による解決ではなく、対話による問題解決方法や対立変容の手法を学び、いのちの尊厳や靈性に重きを置く和解のあり方を共に考えます。また、さまざまなコミュニティとの対話の実践や平和構築にむけた取り組みを、フィールドワークを通して学びます。

なお、本セミナーは、和解・平和学の講座を持つ大学機関や、平和問題に取り組む宗教者、宗教団体、学者、NGO 等と連携し、毎回ゲスト講師をお迎えして講義を行います。ゲストの予定によって、講師の変更などが生じることがあります。

○ セミナー形態

講義と演習、受講生による討論を組み合わせた双方向授業（アクティブ・ラーニング）を行います。また、各セッションにフィールドワークを設け、現場での実践的なトレーニングや学習を実施します。

フィールドワーク場所の例：水俣、福島、沖縄、広島、神戸、同和問題地区、在日外国人コミュニティ、ミンダナオ、ミャンマー、タイ南部、韓国（ソウル・済州島）など。

○ セミナー期間

2017年7月～2018年11月

○ セミナー内容

(敬称略)

回数	月日	授業テーマ
2017年度 1	7月29日 ～30日	「違いをみつめる」 目的：多様性を理解し、違いを活かす方法を学ぶ ・開講にあたって～なぜ和解が必要なのか～ ・対立・紛争と和解についての概念 ・神戸における諸宗教共存の歴史とコミュニティ発展 【フィールドワーク】 諸宗教の共存の現場を歩く（兵庫県神戸市内）
※詳細は 別紙参照	場所：神戸	

		<p>イスラームモスク、ジャイナ教寺院、ヒンズー教寺院、関帝廟、キリスト教教会など</p> <p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松井ケティ（清泉女子大学教授） ・山本俊正（関西学院大学教授）
2	<p>9月16日 ～17日</p> <p>場所：京都</p>	<p>「見方をかえる」</p> <p>目的：多角的に物事を見て、関係性の中で問題を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修復的正義¹とソーシャルワーク ・ソーシャルワークにおける和解とは ・同和問題 <p>【フィールドワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題地区 ・ビハーラ 21（大阪府）＊調整中 ※障害者、高齢者のシェアハウス <p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーク・アンブライト （ミネソタ大学修復的司法・仲裁センター長） ・石原明子（熊本大学准教授）など
3	<p>12月2日 ～3日</p> <p>場所：東京</p>	<p>「耳をかたむける」</p> <p>目的：痛み・喪失に寄り添い、対話の力を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NGOにおける和解の取り組み ～日本とフィリピンの戦後の和解～ ・臨床宗教師の取り組み ～東日本大震災被災地での傾聴～ <p>【講師】</p> <p>神直子（NPO 法人ブリッジ・フォー・ピース²代表） 臨床宗教師養成講座より ※調整中</p>
4	<p>2月10日 ～11日</p> <p>場所：東京</p>	<p>「他者をうけいれる」</p> <p>目的：和解や調停のスキルを身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン・ミンダナオ島の平和構築と和解の実践 ～Mindanao Peacebuilding Institute の平和構築

¹ **修復的正義**は Restorative Justice の日本語訳。修復的司法とも訳される。犯罪を、人々やその関係に対する侵害と捉え、司法を、被害者・加害者・地域社会による対話を通じて、被害の回復と関係の修復を図るためのものと理解する考え方と実践のこと。司法のみならず、教育現場や社会援助の現場などでもその理念を応用し実践されている。

² **ブリッジ・フォー・ピース**はフィリピンの戦争犠牲者と元日本兵の方々の体験を聞き取り、ビデオメッセージによって両者を結ぶ活動から始まった団体。戦争体験者のメッセージと記録をもちいワークショップを行う。

		<p>トレーニング受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 霊性に基づく和解 <p>【フィールドワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高麗博物館、アクティブ・ミュージアム（女たちの戦争と平和資料館） <p>【講師（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Mindanao Peacebuilding Institute³より講師招聘
2018 年度 1	4 月 場所：福島	<p>「つながる／つなげる」</p> <p>目的：コミュニティの対立について学び、つながりをもたらす役割を担う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 犠牲のシステムとコミュニティの和解を考える ・ 福島におけるコミュニティの再構築 ・ 福島における司法による和解の取り組み <p>【フィールドワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WCRP 日本委員会によるフクシマコミュニティづくり支援団体訪問 ・ 福島県での東日本大震災復興
2	7 月 場所：東京	<p>「流れをつくる」</p> <p>目的：プログラムを策定し実施するための手段・方策を学び、実践する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムの作り方を学ぶ ～KAICIID／Training Of Trainers のプログラムオフィサーを講師に迎えて～ ・ プログラム作成の際のデザイン、ワークの作成、実践 <p>【講師（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KAICIID⁴より講師招聘など
3	9 月	<p>「外へふみだす」</p> <p>目的：諸宗教による和解の取り組みを現場で学び、諸</p>

³ **MPI (Mindanao Peacebuilding Institute/ミンダナオ・ピース・インスティ トゥート)**：どのような考え方も尊重されるという安全な環境のもと、さまざまな背景を持つ人々が集い、分かち合い、共に学ぶ合う場所を提供するトレーニング機関。ミンダナオ島での紛争の経験を生かし、毎年平和構築トレーニングプログラムを開催、アジア各国から行政・NGO 関係者・宗教者など多くの参加者が集う。

⁴ **KAICIID(King Abdullah Bin Abdulaziz International Centre for Interreligious and Intercultural Dialog/アブドゥラー国王宗教・文化間対話のための国際センター)**：宗教間、異文化間の理解を深め、紛争を予防し解決するための対話のプログラム等を実施している政府間・宗教間団体。

	<p>場所： 国内・国外 (未定)</p>	<p>宗教で取り組む意義と役割を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際的な諸宗教の和解の取り組みから学ぶ <p>【フィールドワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※海外または国内 <p>WCRP 国際の取り組み (ミャンマー、タイ南部)、 紛争力の宗教者招聘、ミンダナオ、済州島、アメリカなど</p> <p>【講師 (予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウィリアム・ベンドレイ (WCRP 国際事務総長) など
4	<p>11 月</p> <p>場所：熊本</p>	<p>「行動をおこす～私がうごく、和解がうまれる～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティ間の対立から和解へ～水俣から学ぶ～ ・ 閉講にあたって ・ 修了証授与 <p>【フィールドワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水俣地域 (熊本県水俣市) <p>【講師 (予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石原明子 (熊本大学准教授) など

【別紙】

ファシリテーター養成セミナー第1回プログラム

1. 開催期間：2017年7月29日（土）－30日（日）
2. 開催場所：神戸市内
※会場・宿泊：立正佼成会神戸教会
（神戸市中央区浜辺通6－2－13）
3. フィールドワーク：諸宗教の施設訪問
（イスラームモスク、キリスト教教会、ジャイナ教教会、関帝廟など）
4. 講師：
 - ・山本俊正先生：WCRP日本委員会和解の教育タスクフォース責任者
関西学院大学教授：非暴力思想、宗教間対話等
 - ・松井ケティ先生：WCRP日本委員会和解の教育タスクフォース運営委員
清泉女子大学教授：包括的平和教育・対立解決法等
5. 行 程

7月29日（土）	7月30日（日）
11：00 集合・受付 （神戸市内宗教施設）	09：00 セッションⅡ
11：15 開講式（挨拶・趣旨説明） オリエンテーション 講師・参加者自己紹介 導入：和解とは	12：00 昼食
12：30 昼食	13：00 フィールドワークⅡ
13：30 移動	14：30 休憩
14：00 フィールドワークⅠ	14：45 セッションⅢ 振り返り 今後に向けて
17：00 夕食	16：00 解散
19：30 セッションⅠ	

